

**2018 年度
(平成 30 年度)**

**特定行為研修
春期入学コース
募集要項**

**公益社団法人 日本看護協会
看護研修学校**

2018 年度

公益社団法人 日本看護協会 特定行為研修 募集要項

看護研修学校

春期入学コース

I. 特定行為に係る看護師の研修(以下、特定行為研修)の概要

1. 本会の特定行為研修の特徴

本会は、「保健師助産師看護師法第三十七条の二第二項第一号に規定する特定行為及び同項第四に規定する特定行為研修に関する省令（厚生労働省省令 33 号）に基づき、14 の特定行為区分について指定教育機関として指定を受けている。さまざまな領域で特定行為を活用して看護の専門性を高め実践する看護師の役割モデルを示し、その役割発揮に必要な特定行為区分を組み合わせた研修を企画実施するものである。

※「特定行為」とは、診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとして厚生労働省省令で定められるものをいう。

本会は下記特定行為区分について厚生労働省に指定教育機関の指定を受けている。
(①～⑪2015 年 8 月 5 日付、⑫～⑭2016 年 8 月 4 日付)

- ① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ② 呼吸器（気道確保に係るもの）関連
- ③ 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
- ④ 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
- ⑤ ろう孔管理関連
- ⑥ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
- ⑦ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
- ⑧ 創傷管理関連
- ⑨ 創部ドレーン管理関連
- ⑩ 動脈血液ガス分析関連
- ⑪ 感染に係る薬剤投与関連
- ⑫ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- ⑬ 循環動態に係る薬剤投与関連
- ⑭ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

2. 研修受講資格

本会の認定看護師制度に基づく 21 分野の認定看護師の資格を持つ者

3. 履修内容の読み替え

認定看護師教育課程で既に履修した授業科目については、本研修で履修済みとして認める。

4. 定員

定員 100 名

7つの受講モデル別に 10～20 名程度

5. 実施日程

2018年	4月 4日 (水)	開講式
	4月 5日 (木) ~6月12日 (火)	e ラーニング授業
	6月13日 (水)	集合研修開始
	6月13日 (水) ~9月中旬	講義・演習・臨地実習
	9月下旬	修了式

※e ラーニング授業の期間中に、筆記試験のために登校日がある。

※基本モデルは、集合研修開始から1カ月程度ですべての講義と演習が終了し臨地実習となる予定。

※臨地実習期間は受講モデルによって異なる。

6. 研修場所

看護研修学校、神戸研修センター及び実習施設等の連携協力機関において実施する。なお本会は研修修了後も特定行為の実践が有効に行われるよう、自施設実習を推奨している。なぜなら、継続した指導医の指導と安全に活動する施設基盤を重要と考えるためである。

※教育の一環として、一部他施設実習を必須としている受講モデルもある。創傷管理、感染症管理、慢性疾患管理（糖尿病ケア）

※自施設実習を行うためには、当該施設が本会の連携協力施設として、連携協力体制（指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制）に関する書類を厚生局に提出する必要がある。

7. 研修内容の特徴

本会の研修は、活動の場のニーズと領域の専門性を考慮して7つの受講モデルを設定している。活動内容は、受講モデル別に期待する役割を想定し、共通科目及び関連する1以上の区分別科目で構成する。

8. 7つの受講モデルの概要

認定看護師教育機関(課程)で履修した一部の教科目を読替えし、共通科目は285時間となる。

受講モデル(定員数) 期待する役割	共通 科目 時間数	区分別科目 時間数			総 時間数
A【基本モデル】(10) 様々な医療の場において、全身状態の管理等により、異常の早期発見、早期介入を行い、安全安心な療養生活が続けられるよう支援する。	285	必修	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	36	321
B【救急・集中ケアモデル】(20) 緊急度・重症度が高い患者への初期医療に関わり、循環動態、呼吸動態、電解質の管理等の早期介入で重症化予防を図り、安全安心な療養生活が続けられるよう支援する。	285	必修	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 2. 呼吸器(気道確保に係るもの)関連 3. 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連 10. 動脈血液ガス分析関連	151	必修+7, 13をすべて 選択した 場合は 517
			7. 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	21	
		13. 循環動態に係る薬剤投与関連	60		
C【創傷管理モデル】(20) 様々な医療の場において、褥瘡や慢性創傷が発生した患者に対し、高度な創傷管理の早期介入で重症化を予防し、安全安心な療養生活が続けられるよう支援する。	285	必修	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 8. 創傷管理関連 9. 創部ドレーン管理関連	123	408
D【感染症管理モデル】(20) 様々な医療の場において、感染症の疑いのある患者、発症リスクが高い患者への栄養、感染対策によって感染症の進行や全身状態の悪化を防止し、安全安心な療養生活が続けられるよう支援する。さらに多剤耐性菌対策に寄与する。	285	必修	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 11. 感染に係る薬剤投与関連	99	必修+6, 7 をすべて 選択した 場合は 423
			選択 (複数可)	6. 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	
		7. 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連		21	
E【在宅ケアモデル】(10) 在宅等で医療処置が必要な患者の全身状態の管理等により、異常の早期発見、早期介入を行い、安全安心な療養生活が続けられるよう支援する。	285	必修	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	36	必修+4, 5 をすべて 選択した 場合は 390
			選択 (複数可)	4. 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	
		5. ろう孔管理関連		48	
F【慢性疾患管理モデル(症状緩和ケア)】(10) 様々な医療の場において、疼痛、不安、認知症様の症状のコントロールなど、精神・神経症状緩和のための早期介入を行い、安全安心な療養生活が続けられるよう支援する。	285	必修	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 14. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	93	378
G【慢性疾患管理モデル(糖尿病ケア)】(10) 様々な医療の場において、血糖コントロール管理への早期介入を行い、重度合併症を予防し、安全安心な療養生活が続けられるよう支援する。	285	必修	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 12. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	72	357

9. 科目名と教育方法および時間数

受講モデルに示す共通科目と各区分別科目の教育方法と時間数を以下に示す。
認定看護師教育課程で既に履修した教科目については、それに関連する科目受講を免除する。

1) 共通科目の概要

科目名	教育方法	時間		総時間数 (履修免除有の概要)
臨床病態生理学	講義 演習 評価	28 14 3	eラーニング可能	45
臨床推論	講義 演習 実習 評価	16 19 7 3	eラーニング可能	45
フィジカルアセスメント	講義 演習 実習 評価	14 12 16 3	eラーニング可能	45
臨床薬理学	講義 演習 評価	28 14 3	eラーニング可能	45
疾病・臨床病態概論	講義 演習 評価	50 6 4	eラーニング可能	60
医療安全学	講義 演習 実習 評価	7 3 4 1	eラーニング可能	30 (ただし、30時間中 15時間は履修免除あり)
特定行為実践	講義 演習 実習 評価	10 10 8 2	eラーニング可能	75 (ただし、75時間中 45時間は履修免除あり)
文献検索・文献検討、情報管理	講義 演習	0 0		30 (ただし、30時間中 30時間は履修免除あり)
計	講義 演習 実習 評価	153 78 35 19	eラーニング可能 一部eラーニング可能 集合研修のみ	375 (ただし、375時間中 90時間は履修免除あり) ※実履修時間は285
	合計	285		

*eラーニング可能と表記した講義は、繰り返し学習が可能である。

*講義・演習時間の3分の2程度が、集合研修前にeラーニングのみで学習可能である。

2) 区分別科目の概要

区分番号	区分別科目名	特定行為名	教育方法と時間	履修時間計
1	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	講義 15.5 演習 8	36
		脱水症状に対する輸液による補正	実習 10 評価 2.5	
2	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	講義 3 実習 17 評価 2	22
3	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	講義 22 演習 8 実習 28 評価 5	63
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		
		人工呼吸器からの離脱		
4	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	講義 4 実習 15 評価 2	21
5	ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	講義 16 実習 29	48
		膀胱ろうカテーテルの交換	評価 3	
6	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	講義 9 実習 7 評価 2	18
7	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	講義 5 実習 14 評価 2	21
8	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	講義 29 実習 39	72
		創傷に対する陰圧閉鎖療法	評価 4	
9	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	講義 6.5 実習 7 評価 1.5	15
10	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	講義 4 実習 23	30
		橈骨動脈ラインの確保	評価 3	
11	感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	講義 32 演習 8 実習 20 評価 3	63

12	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	講義 15 演習 3 実習 16 評価 2	36
13	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	講義 13 演習 5 実習 36 評価 6	60
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整		
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整		
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整		
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		
14	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	講義 25 演習 10 実習 18 評価 4	57
		抗精神病薬の臨時の投与		
		抗不安薬の臨時の投与		

II. 応募方法

1. 出願手続き

募集要項及び出願書類一式の請求方法は、以下の2通りがある。

1) ホームページからダウンロード

<http://www.nurse.or.jp/nursing/education/tokuteikenshu>

2) 郵送による請求

総務管理部教務課 042-492-7464

2. 出願提出書類

1) 受講申請書類一式

- (1) 受講申請書 (様式 1)
- (2) 履歴書 (様式 2)
- (3) 受講申請許可書 (受講同意書) (様式 3)
- (4) 推薦書 (様式 4)
- (5) 実践活動報告書 (様式 5)
- (6) 希望する受講モデルに関する施設情報 (様式 6)
- (7) 受験票 (様式 7)
- (8) 第一次審査合否結果送付用封筒
角形 2 号封筒、430 円切手貼付 (基本送料 120 円 + 簡易書留 310 円)、
住所・氏名明記
- (9) 認定看護師認定証 (写し)

3. 出願書類提出方法

封筒の表に「特定行為研修受講申請書在中」と明記の上、簡易書留で下記まで郵送すること。

〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-2-3

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 総務管理部教務課

4. 応募期間

2017 年 12 月 19 日 (火) ~ 2018 年 1 月 18 日 (木) 必着

5. 審査料納付方法

1) 審査料

30,000 円

2) 納付期限

2017 年 12 月 19 日 (火) ~ 2018 年 1 月 17 日 (水)

3) 振込先

下記口座へ振込むこと。振込手数料は受験者負担。

金融機関名：三井住友銀行 支店名：東京公務部

預金種目：普通 口座番号：0163544

口座名義：公益社団法人日本看護協会看護研修学校認定教育口
シャ) ニホンカンゴキョウカイクンゴケンシュウカツコウニンテイキョウイクグチ

4) 振込依頼人名

受験申込者名を入力すること。

例：清瀬太郎さんの場合、振込依頼人名の記入は「キョセタロウ」となる。

5) 注意事項

- ・既納の審査料は原則として返還しない。
- ・銀行で発行される利用明細書をもって領収書とする。

III. 選考方法

1. 受講審査

1) 第一次審査

①審査方法

書類審査

②合否決定

第一次審査の結果は、2018年1月25日（木）に本人宛に合否結果を簡易書留にて発送する。第二次審査は第一次審査合格者のみが受験できる。

2) 第二次審査

①審査方法

審査日 2018年2月15日（木） 面接等（小論文含む）

予備日※ 2月16日（金）

②合否決定

第二次審査の結果は3月5日（月）に、日本看護協会公式ホームページにて受験番号を発表し、本人宛に合否結果を郵送で通知する。

ただし、選考の結果、希望と異なる受講モデルを受講決定（合格）とする場合がある。

※予備日は、天候等の影響で第二次審査が実施できなかった場合、審査日を変更する日。

IV. 研修受講料について

受講料一覧

	受講モデル	行為区分	1人当たり金額
1	A:基本モデル	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	428,000
2	B:救急・集中ケアモデル	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 2. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 3. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 10. 動脈血液ガス分析関連	581,000
		※ その他、選択する行為区分（7、13）に応じて受講費用を加算する。	
3	C:創傷管理モデル	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 8. 創傷管理関連 9. 創部ドレーン管理関連	544,000
4	D:感染症管理モデル	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 11. 感染に係る薬剤投与関連	512,000
		※ その他、選択する行為区分（6、7）に応じて受講費用を加算する。	
5	E:在宅ケアモデル	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	428,000
		※ その他、選択する行為区分（4、5）に応じて受講費用を加算する。	
6	F:慢性疾患管理モデル (症状緩和ケア)	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 14. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	504,000
7	G:慢性疾患管理モデル (糖尿病ケア)	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 12. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	476,000

※ 「B.救急・集中ケアモデル」「D.感染症管理モデル」「E.在宅ケアモデル」で選択する行為区分ごとに加算する受講費用

- 4. 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 28,000 円
- 5. ろう孔管理関連 64,000 円
- 6. 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 24,000 円
- 7. 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 28,000 円
- 13. 循環動態に係る薬剤投与関連 80,000 円

○研修のための宿泊および交通費は実費負担となる。

○厚生労働省教育に関する助成金等について

本研修は以下の助成金等の対象となっている。手続きなど詳しくは厚生労働省各ホームページを参照のこと。

①教育訓練給付制度（一般教育訓練）

研修が修了した場合、研修生本人が本校に支払った教育訓練経費の20%相当額（上限10万円）が給付される制度

https://www.hellowork.go.jp/insurance/insurance_education.html

②人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）

事業主等に対して訓練経費や訓練中の賃金の一部を助成する制度

※申請の際は最寄りの労働局にご相談ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

審査会場案内

◎場所

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校（〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3）
駐車場なし、公共交通機関を利用のこと

◎アクセス方法

- 1) 西武池袋線利用の場合
清瀬駅下車、南口より
 - ・徒歩15分
 - ・西武バス2 番乗り場から乗車（全てのバス利用可）、「複十字病院」下車徒歩1分
 - ・タクシー5分
- 2) JR武蔵野線利用の場合
新秋津駅下車、タクシー10分



審査に関する問い合わせ

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 総務管理部教務課
〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3
TEL : 042-492-7464 FAX : 042-492-7213